

# 令和4年度慈愛福祉学園デイサービスセンター事業報告

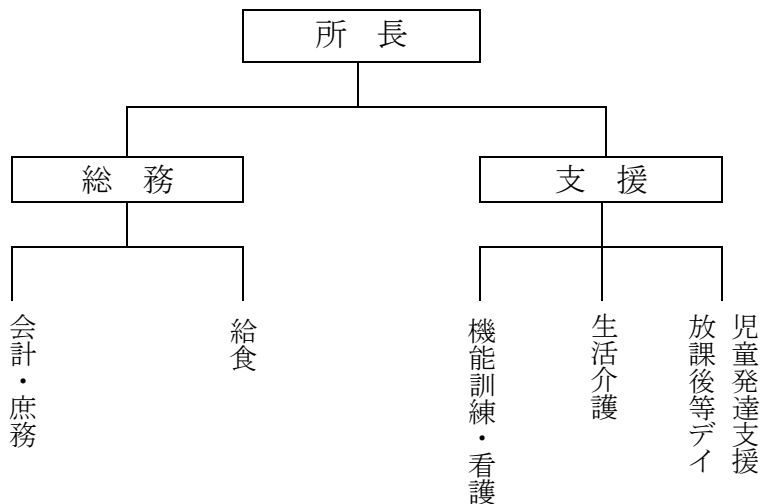
## (生活介護)

### ◀ 施設の概要 ▶

- ・名称及び所在地 「慈愛福祉学園デイサービスセンター」  
〒022-0006 大船渡市立根町字下欠125番地17 TEL21-1122 FAX21-1120
- ・施設の種別 多機能型事業所「生活介護事業」、「放課後等デイサービス事業」「児童発達支援事業」「日中一時支援事業」
- ・概要  
施設規模：床面積 823.53㎡（鉄筋コンクリート 一部軽量鉄骨プレハブ造平家建）  
施設内容：指導員室・会議室・相談室兼静養室・便所・車椅子便所・調理室・食堂・更衣室・倉庫・日常生活訓練室・作業室・脱衣所・機械室・浴室・訓練棟
- ・定員 1日20名
- ・目的 利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った、適切かつ円滑な指定生活介護及び特例基準該当児童発達支援、日中一時支援事業の提供を確保することを目的とする。
- ・沿革  
平成13年10月1日開所  
平成18年10月1日生活介護事業として指定を受ける。  
平成24年6月1日日中一時支援事業として大船渡市・陸前高田市より許可を受ける。  
平成27年6月1日特例基準該当児童発達支援として大船渡市・陸前高田市より許可を受ける。  
令和元年7月1日特例基準該当児童発達支援事業が児童発達支援事業として変更申請の認可を受け、以後放課後等デイサービス事業に於いて対応することとなる。

### ◀ 組織図及び職員名簿 ▶

- ・組織図



多機能型事業（生活介護：20名）			
職名	氏名	職名	氏名
施設長	中村浩行	主任（サビ管）	新沼瞳美
主任（作業療法士）兼務	工藤優	生活支援員	森香央里
生活支援員	渡辺大輝	生活支援員	石橋大輝
生活支援員	工藤明子（2月退職）	生活支援員兼事務	山田恵理子
生活支援員（契約）	佐藤俊	生活支援員（契約）	佐々木はま子（8月退職）

生活支援員（契約）	田中敬司（8月入職）	生活支援員（契約）	平野聖実（9月入職）
生活支援員兼調理（契約）	佐野優子	生活支援員（パート）	紺野博美
生活支援員（パート）	竹村真奈美	生活支援員（パート）	伊藤佳子
生活支援員（パート）	千葉邦明（6月退職）	看護師	野々村梢（3月退職）
看護師（派遣）	高橋里子（8月～11月）	運転専門員（委託）	佐藤暢恭（12月終了）

### 1. 利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
平均	20.0	19.8	20.3	20.9	21.0	19.7	19.5	18.1	19.7	19.2	20.0	19.7	237.9	19.8
延べ	459	496	529	522	503	512	508	453	512	479	479	532	5984	498.6

### 2. 行事報告

月	日	行事名	月	日	行事名
4		各月誕生会（面談月間）	11	19	防災訓練
4		おやつ作り（パフェ）	11	30	調理実習（芋の子汁）
5		おやつ作り	12	15	忘年会
6		おやつ作り	12	19	クリスマス会
7		おやつ作り（サラダ寒天）	1	15	水木団子作り
8	18	おやつ作り（フルーツパフェ）	1	24	おやつ作り（おかき）
8		納涼会	2	3	節分
9		おやつ作り	2	28	おやつ作り（クレープ）
10	14	芋ほり	3	24	防災訓練
10	26	お楽しみ会/バザー	3	28	おやつ作り（ロールケーキ）
10	26	調理実習（スイートポテト）	3		（面談月間）
10		（面談月間）			

#### ② 施設内研修

月	日	担当者	受講者	場所	研修内容
4	16	長野	13	ホール	言葉の変換
5	21	石橋	16	ホール	権利擁護
6	18	森	14	ホール	虐待防止
7	16	及川	18	ホール	感染症
8	20	新沼	12	ホール	身体拘束
9	17	工藤	15	ホール	腰痛予防
10	15	早瀬	17	ホール	人権について
11	27	所長	20	ホール	グループワーク
12	17	野々村	15	ホール	感染症
1	21	渡辺	16	ホール	ハラスメント
2	18	佐々木	15	ホール	表情筋トレーニング
3	18	佐野	16	ホール	洗浄について

#### ③ 施設外研修会

月	日	研修会名	場所	参加者
6	23	甲種防災管理新規講習研修	釜石産業育成センター	石橋
6	24	甲種防災管理新規講習研修	釜石産業育成センター	石橋
6	29	非常勤嘱託講師に係る業務	盛岡ひがし支援学校	工藤
11	30	非常勤嘱託講師に係る業務	盛岡ひがし支援学校	工藤

1	13	令和4年度サービス管理責任者更新研修	ふれあいランド岩手	新沼
2	9	アンガーマネジメント研修（法人内）	福祉の里センター	16名

### 3. 地域交流活動

- (1) 行事参加 →参加なし  
(2) ボランティアの受け入れ → 今年度受け入れなし

### 4. 家族との連携

- (1) 連絡ノート  
・連絡帳を通して家族と随時連絡を取り合うことにより、家族の精神的不安の緩和につながったケースも認められた。
- (2) 面談  
・個別支援計画作成前にセンターでの様子、自宅での様子など聞き取りし共有を図る。

### 5. 利用者支援

- (1) 日課及び指導・介助の動き

時 間	日 課	指導・介助の動き
	内 容	内 容
8:30 ~ 9:30	利用者迎え	掃除・出迎え・打合せ
9:30 ~ 10:00	バイタルチェック	バイタル測定・排泄介助
10:00 ~ 10:10	朝会（呼名・体操・所長お話）	1日の活動内容説明
10:00 ~ 10:30	機能訓練（リハビリ）・創作活動（図画、 工作等）生産活動（軽作業）入浴	指導・休憩時の水分補給
10:30 ~ 11:30		作業指導・排泄介助
11:30 ~ 12:00	口腔体操・手指消毒	食事の指導と介助
12:00 ~ 13:00	昼食・歯磨き	水分補給・排泄介助
13:30 ~ 15:00	機能訓練（リハビリ）・社会適応訓練	リハビリ・活動支援
15:00 ~ 15:30	おやつ・掃除・終会	1日の反省
15:30 ~ 17:00	利用者送り	送り・掃除・日誌記録

- ②介護 ・食事において「きざみ食」「トロミ食」の適用など一部および全面的な介護の実施。  
・入浴において一般浴並びに機械浴等を通しての一部および全面的な介護の実施。  
・排泄において排便を含め一部および全面的な介護の実施。  
・移乗において車いすからベットなど一部および全面的な介護の実施。  
・送迎において車輛への移乗や車いすのままでの乗車など一部および全面的な介護の実施。  
・軽作業等の生産活動の機会及び創作的活動の提供および介護の実施。
- ③リハビリテーション  
・ 身体に障害のある利用者に対して専門職である作業療法士がリハビリについての相談、指導をおこなった。
- ④医療的ケア  
・ 胃ろう増設の方に対して経管栄養のための支援及び痰吸引を実施。  
・ 自己排泄不可能な方への浣腸による排便の実施。
- ⑤生活支援  
・ 集団生活の中で、他者との関係において互いに影響しあいながら、個人の尊重が同時に他者への尊重を含むことを認識してもらえよう支援した。  
・ 地域において安心して生活できるよう、他の福祉サービスが必要な場合、関係機関との連携のもと支援を行った他、必要により医療機関への通院支援を実施した。  
・ 手工芸をおもに、生産活動の機会の提供に努めた。  
・ 生産活動や作業活動において工賃支援を行った。
- ⑥体力づくり

- ・朝会后、ラジオ体操等の実施により、体力の向上、肥満の防止に努めた。
- ・レクリエーションにおいてお話し会・歌・ゲーム等を取り入れ実施した。
- ・利用者の体力・運動能力に応じ適度な歩行訓練を行い体力増強、健康増進に努めた。
- ・健康管理において毎朝、健康点検を行い、体温・血圧・心拍数を測定するとともに、インフルエンザ予防に努めるなど、日々健康で生活できるよう健康管理の徹底を図った。

#### 6. 苦情解決 受付0件

#### 7. 防災状況

非常災害に関する具体的計画を立てておくとともに非常災害に備えるため、非難、救出その他必要な訓練を2回実施した。

#### 8. まとめ

令和4年度の利用状況につきましては、新規利用者が3名登録となりましたし、退所者はありませんでした。月平均利用者数は19.8名で昨年度の18.3名から1.5名増えております。

日中活動について、個別支援や遠足などの外出を伴う行事は昨年同様中止とし、施設内行事のおやつ作りを毎月実施。また縁日、お楽しみ会、バザー等も昨年度同様に実施しました。また、中庭の整備が進んだことで花や野菜を育て、収穫体験、調理実習等の機会が増えました。生産活動は販売の機会がなかったことから制作中止としています。

コロナ関連では、8月13日放課後等デイサービス事業所よりクラスターが発生、生活介護は経過観察のため2日間閉所としましたが、感染者は0人でした。これを受け感染対策を見直し。生活介護と放課後等デイの職員及び利用者・児童の接点を可能な限り制限したことにより、利用者への影響はなく利用可能となりました。12月末ケアホーム希望の職員1名と利用者1名が感染し、12月30日のみ経過観察のため閉所。感染拡大には至りませんでした。

人材育成については、今年度も職員の入職、退職が多く、昨年度に続き人材育成が課題でした。また看護師、作業療法士の人材不足が解消されておりません。医療的ケアの必要な利用者が安定して地域生活を送るためにも看護師の確保が重要となります。また作業療法士についても利用者が機能低下を防ぎ機能維持できるよう安定したリハビリを受けられる体制整備が必要です。未経験者の育成には介護技術を含め時間がかかりますが、丁寧な指導と仕事への理解を深めながら、来年度はOJT体制の整備に力を入れたいと思います。

## 令和4年度慈愛福祉学園デイサービスセンター運営報告

### (放課後等デイサービス・児童発達支援)

#### ◀ 施設の概要 ▶

- ・名称及び所在地 「慈愛福祉学園デイサービスセンター」  
〒022-0006 大船渡市立根町字下欠125番地17 TEL21-1122 FAX21-1120
- ・施設の種別 多機能型事業所「指定放課後等デイサービス」「指定児童発達支援」
- ・概要 生活介護との併用
- ・定員 放課後等デイサービス。児童発達支援合わせて10名
- ・目的

在宅の障害児に対して通所の方法により日常生活動作、運動機能等に係る訓練、その他必要な療育を行うことにより、障害児の処遇向上を図ること等を目的とする。

- ・沿革  
平成19年 4月1日 基準該当児童デイサービス開始  
平成22年 4月1日 指定児童デイサービスを開始

平成25年 4月1日 指定放課後等デイサービスを開始

令和 元年 7月1日 生活介護で対応してきた基準該当児童発達支援事業が、変更申請が認可され、指定児童発達支援事業となった為、放課後等デイサービス事業で対応となる。

令和 2年10月1日 放課後等デイサービス・児童発達支援合わせて10名の定員に変更する。

《 組織図及び職員名簿 》

- ・組織図は生活介護と併用
- ・職員名簿

多機能型事業			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
施 設 長	中 村 浩 行	保 育 士	早瀬里子(6月育休復帰)
児童発達支援管理責任者	長 野 は る な	保 育 士	大畑芽衣(4月入職)
保 育 士	佐 々 木 耀 子	指 導 員	佐々木若奈(4月入職)
児 童 指 導 員	及 川 智 子	看 護 師	野々村梢(3月退職)

1. 利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
平均	9.5	10.2	8.9	9.7	9.4	8.6	9.5	10.6	9.4	9.7	10.0	9.3	114.8	9.5
延べ	209	225	232	243	215	207	239	232	226	226	221	243	2718	226.5

2. 行事報告

月	日	行 事 名	月	日	行 事 名
4	5	クッキング(フルーチェプリン)	10	15	里いも収穫
	23	クッキング(パウンドケーキ)		31	ハロウィンごっこ
5	6	こどもの日 レク	11	2	クッキング(おにぎり)
	14	感触遊び(風船スクイズ)		12	クッキング(さつまいも餅)
	30	運動会 お疲れ様会		16	クッキング(おにぎり)
6	25	感触遊び(小麦粉粘土)	12	2	クッキング(さつまいも餅)
7	2	クッキング(魚肉カップケーキ)		10	クッキング(焼きそばパン)
	23	ビニールプール①		23	クリスマス会
	26	ビニールプール②		28	忘年会
	27	ビニールプール③	1	4	獅子舞ごっこ
	29	クッキング(パウンドケーキ)		5	クッキング(いも羊羹)
8	1	スノーズレン		12	お楽しみ会
	2	ビニールプール④		13	人形劇(ゆめふうせん)
	3	ビニールプール⑤	2	3	豆まき
	5	人形劇(ゆめふうせん)		8	クッキング(おにぎり)
	8	クッキング(スノーボール、アイス)		17	クッキング(かぼちゃケーキ)
	9	ビニールプール⑥		22	クッキング(炊飯器ケーキ)
	12	ビニールプール⑦	3	10	卒業を祝う会
9	22	クッキング(ピザトースト)		27	クッキング(ベビーカステラ, チーズホットク)
				29	お楽しみ給食、クッキング(スープ)

- ② 施設内研修  
生活介護に同じ
- ③ 施設外研修会

月	日	研 修 会 名	場 所	参加者
2	9	アンガーマネジメント研修会（法人内）	福祉の里センター	16名

※その他、例年通りの研修会へ参加予定でしたが、新型コロナウイルス感染状況等により不参加となる。

### 3. 地域交流活動

(1) 行事参加 なし (2) ボランティアの受け入れ 生活介護に同じ

### 4. 家族との連携

(1) 連絡ノート

- ・連絡帳を通して家族と随時連絡を取り合うことにより、家族の精神的不安の緩和につながったケースも認められた。

(2) 口頭での申し送り

- ・家族送迎時、利用受入時等の口頭での申し送りにより、正確な情報を得ることができた。

### 5. 利用者支援

①日課及び指導・介助の動き

時 間	日 課	
	内 容	備 考
7:30 ~ 9:30	利用者迎え・受け入れ	
9:30 ~ 10:00	健康点検・朝会	
10:00 ~ 10:50	集団または個別での療育・支援	
12:00 ~ 13:00	昼食	
13:00 ~ 13:30	休憩	
13:40 ~ 15:00	機能訓練（リハビリ）・社会適応訓練・レク	
15:00 ~ 15:40	おやつ・終会	
15:40 ~ 18:00	自由遊び、送り	

②指導、介護、療育

- ・食事において「きざみ食」「トロミ食」の適用など一部および全面的な指導、介護の実施。
- ・入浴において一般浴並びに機械浴等を通しての一部および全面的な指導、介護の実施。
- ・排泄において声かけを含め一部および全面的な指導、介護の実施。
- ・送迎において車輛への移乗や車いすのままでの乗車など一部および全面的な指導、介護の実施。
- ・保育士、作業療法士による感覚統合やその他療育の提供。

③リハビリテーション

- ・当センター独自のサービスで、利用登録児童に対して専門職である作業療法士がリハビリについての相談、提供をおこなった。

④医療的ケア

- ・胃ろうがある生徒に対して経管栄養のための支援の実施。

⑤生活支援

- ・日常生活における動作全般の支援を重点的に取り組む。特に着替えの場面において自分で出来る行為は可能な限り手を貸さないように注意して支援を行った。

⑥体力づくり

- ・長期休業中は週に1回の体育館活動の他、散歩や公園遊びなど、身体を動かすことを意識した活動を提供した。
- ・健康管理において毎朝、体温を測定して健康状態を把握するとともに、インフルエンザ等感染症予防に努めるなど、日々健康で生活できるよう健康管理(把握)の徹底を図った。

6. 苦情解決 受付0件

7. 防災状況 生活介護に同じ。

8. まとめ

### 【児童発達】

令和4年度の利用状況については、昨年度から継続してサービス利用している利用児童1名でスタートしています。医療的ケアを必要とする児童である為、看護師や作業療法士が医療的ケアや作業療法の視点からの見立てを行った他、日常的な関わりは保育士をはじめとする児童担当職員が対応しました。また、1月からは1名新規の児童が増えました。こちらのケースも作業療法士とともに見立てを行い、日常的な関わりは保育士をはじめとする児童担当職員が対応しました。

3月で家族都合により1名の利用が終了、新年度は1名が継続してサービスを利用する見込みとなっております。

### 【放課後等デイサービス】

令和4年度の利用状況については、3月に5名が卒業し、4月から2名が新規利用となりました。今年度の月平均利用児童数は9.5名で、昨年度平均11.9名から1.4名減となっております。

8月13日のクラスター発生により、職員6名、利用児童8名が感染となり、8月26日まで閉所となりました。再開に向けた対策として、生活の拠点をリハビリ棟の広いホールに移し、密になりやすいバスハイクやエアポリンの活動を中止する等の感染対策を新たに講じました。計画していた親子行事も中止の判断をしています。その後、日常的な活動では昨年度同様コロナ対策を行い、戸外活動や公園、河川敷での活動を増やすことで密を避けるとともに、子どもたちが思い切り活動することでストレス発散を促すことができました。また、施設内での行事は感染対策を行いながら出来る活動として、クッキング行事を増やしました。デイで収穫した食材を使用する、季節に合った料理をすることで、子どもたちの喜びの姿が見られています。

近年、利用児童の支援度の高さだけでなく、家庭も含めた包括的支援を求められるケースも多くなっています。今年度は感染対策の観点や、児童への直接的な関わりに人手が必要となり、研修参加が難しい状況でしたが、来年度は研修参加を通して職員全体のスキルアップを目標とするとともに、ニーズに寄り添った支援提供ができるよう努めたいと存じます。

## 令和4年度ケアホーム希望運営報告 (共同生活援助・短期入所)

### 《施設の概要》

- ・名称及び所在地 「ケアホーム希望」  
〒022-0006 大船渡市猪川町字富岡153-1 TEL47-4769 FAX47-4769
- ・施設の種別 共同生活援助（日中サービス支援型）及び短期入所（併設型）
- ・概要  
施設規模：床面積 267.67㎡（木造平家建）  
施設内容：職員室・居室・身障対応便所・車椅子便所・ダイニング・食堂・世話人室・倉庫・脱衣所・和室・浴室・サンルーム
- ・定員 一日7名（他短期入所2名）
- ・目的  
利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った、適切かつ円滑な指定共同生活援助及び指定短期入所の提供を確保することを目的とする。
- ・沿革  
平成25年10月1日 指定共同生活援助及び指定短期入所を開始  
令和元年7月1日 指定共同生活援助事業を介護包括型から日中サービス支援型に変更
- ・職員名簿

共同生活援助事業（共同生活介護7名、短期入所2名）

職 名	氏 名	職 名	氏 名
施設長（兼務）	中村 浩行	主任（サビ菅）	古藤 瑠那
生活支援員	臺 豊正	生活支援員（契約）	廣澤 由美子
生活支援員（契約）	尾崎 孝	世話人（パート）	新沼 トシ子
世話人（パート）	長洞貞子（5月退職）	世話人（パート）	畠山 悦子
世話人（パート）	池田 順子	世話人（パート）	鎌田和恵（4月入職）

### 1. 利用状況（共同生活援助）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
平均	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84	7
延べ	206	201	197	210	212	203	204	204	211	210	189	210	2457	6.8

### 利用状況（短期入所）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
平均	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21	1.75
延べ	25	25	25	27	27	27	27	27	27	27	28	29	321	26.7

\*入所希望待機者 2名

## 2. 行事報告

### ①施設行事

月	日	行 事 名	月	日	行 事 名
4	3	調理実習：（たこ焼き・チヂミ）	11	20	調理実習：白菜巻
5	5	おやつ作り：（レアチーズケーキ）	12	23	Xmas 会
	8	調理実習：（利用者さんオリジナルカレー）	1	8	初詣：（天神山）
6	13	調理実習：チヂミ・トン汁・味噌焼きおにぎり	1	12	みずき団子作り
7	17	調理実習：（おいなりさん・どら焼き）	1	8	天神山：初詣（バスハイク）
8	6	大船渡花火鑑賞（CHから）	2	3	調理実習：（恵方巻・豆まき）
8	13	スイカ割・納涼会（手持ち花火）	2	12	調理実習：（ピザ）
	15	調理実習：（餃子作り）	3	12	おやつ作り（アップルパイ）
9	11	調理実習：（豆腐ハンバーグ）	3	14	調理実習：（肉まん作り）作り
10	23	調理実習：（ビーフシチュー）			

個別支援 ・コロナ禍につき、感染状況を見ながら買い物等の個別支援を実施。

・定期通院のある利用者への動向支援を実施。

休 日 ・タオル体操・ウォーキング・調理実習を実施。

②研 修 施設外研修については、コロナの感染拡大により参加予定の研修会等全て不参加。

施設内研修については、毎月実施される職員会議と一緒に実施した。

月	テーマ	担当	参加者
4	身体拘束・ありがとうは魔法の言葉	古藤	中村・廣澤・尾崎・畠山・古藤
5	グループホームとは	廣澤	中村・廣澤・畠山・鎌田・古藤
6	口腔ケアについて	畠山	中村・廣澤・畠山・鎌田・古藤
7	感染対策として	池田	中村・廣澤・池田・鎌田・古藤
8	虐待防止について	古藤	廣澤・畠山・古藤
9	腰痛予防について	鎌田	中村・田中・畠山・新沼・古藤
10	メンタルヘルスについて	尾崎	中村・廣澤・畠山・鎌田・古藤
11	救命講座：（心肺蘇生・AED）	古藤	廣澤・尾崎・畠山・鎌田・古藤



1	障がい者差別解消法	廣澤	中村・廣澤・池田・鎌田・古藤
2	権利擁護とは	尾崎	中村・廣澤・尾崎・島山・鎌田・古藤
3	チームワークとは	古藤	廣澤・尾崎・島山・古藤

### ③ 施設外研修会

月	日	研 修 会 名	場 所	参加者
2	3	令和4年度サービス管理責任者更新研修	ふれあいランド	古藤
2	9	アンガーマネジメント研修会（法人内）	福祉の里センター	5名

3. 地域交流活動・行事参加無・ホーム周辺ゴミ拾い活動の取り組み（ご近所さんに挨拶等の交流）

4. 家族との連携・電話連絡等による連携。

### 5. 日課及び指導・介助の動き

時 間	日 課	指導・介助の動き
	内 容	内 容
6:30 ~ 7:00	起床	オムツ交換、車いすへの移乗、洗顔
7:50 ~ 8:40	朝食	準備、食事、片づけ、歯磨き
8:40 ~ 9:00	日中活動への出発準備、出発	トイレ介助、オムツ交換
9:30 ~ 15:30	日中活動	通院介助・個別支援
16:00 ~ 17:00	休憩	トイレ介助、オムツ交換
17:00 ~ 18:00	夕食	準備、食事、片づけ、歯磨き
18:40 ~ 22:00	入浴、自由時間	入浴介助、生活支援
22:00 ~	就寝	
0:00 ~	オムツ交換、トイレ誘導	トイレ介助、オムツ交換
3:00 ~	オムツ交換、トイレ誘導	トイレ介助、オムツ交換

6. 苦情解決 受付0件

7. 防災状況 非常災害に関する具体的計画を立てておくとともに非常災害に備えるため、非難、救出その他必要な訓練を実施。（2月地震・3月火災想定で2回実施）

### 8. まとめ

今年度の利用状況ですが、定員7名は、4月当初から年度末まで満室状況にありました。また短期入所（ショートステイ）2名定員のうち1名は常に利用。障がい者虐待等の緊急受入用の1名についても、ご家族様のレスパイト目的での利用と体験利用がありました。

日常支援について、コロナ禍により、遠足や、ご家族参加等のイベント行事は中止としました。個別対応として、個々の通院・買い物支援を行うと共に、施設内での取り組み、体操や歩行練習・調理実習等利用者さんのリクエストを前年度同様に取り入れました。

コロナ関係では、発熱があるとまずは、コロナ感染の可能性があるので、通院による陰性が確認されるまでは居室待機や隔離等、集団生活ならではの大変さも数多くありました。ケアホーム内でも年末に、職員1名と利用者1名の陽性者が確認され、各居室待機のまま、新年を迎える事となりました。幸い、感染拡大はなく、年明けから通常体制となりました。利用者さんには、ストレスがかかる1年となりましたが、利用者さんのご理解・ご協力もあり乗り越える事ができました。

また、利用者さんの体調急変による、夜間救急搬送が2件あり、慈愛デイサービスセンターの協力も得ながら大事に至ることなく対応できました。このことで夜間救急体制や対応等、改めて再確認をしたところであります。

ケアホーム利用者さんも高齢の方が増え、職員の知識・技術・責任感の向上が必要であり、日々のコミュニケーション等（利用者さんの些細な変化も見逃さない）、日頃の関わりを意識・観察・共有し、チーム支援と職員個々の支援技術向上に向けて努力を継続していきたいと思っております。